

『エコシステムアカデミー2020 設立10周年記念特別講演』開催

エコシステムアカデミー設立10周年記念特別講演が、昨年11月6日にオンラインミーティングで開催されました。10年前の開所式でもご講演いただいた東京大学名誉教授 太田猛彦様にご講演いただきました。

「自然災害や感染症流行と環境 ～今、環境が私たちに問いかけていること～」



ご自宅にてご講演中の太田先生

この10年間に私たち日本人は過去に経験したことのない出来事に出会いました。

連年の水害や土砂災害、そして現在の新型コロナウイルス感染症(COVID19)流行という、一見全く異なると思われる二つの現象が、実はわたしたちを取り巻く自然環境・地球環境の劣化によりもたらされていることを多数の写真やデータを交えてお話いただきました。

近年の自然災害をふり返ると、2017年九州北部豪雨、18年西日本豪雨、19年東日本台風(台風19号)、そして球磨川が氾濫した20年7月豪雨と続いています。その原因をさかのぼるとどうやら地球温暖化にたどり着くことが知られています。一方、現在進行中のCOVID19の真の原因はヒトが自然の領域を犯したためと言われています。

この人類と地球の危機を救う方法として、国連は2015年に持続可能な社会、そしてレジリエントな社会(打たれ強い、しなやかな社会)を創り出すことを目標にSDGsを宣言しています。また、最近ではNature-based Solutions(自然ベースのソリューション)という考え方も生まれています。

今、私たちは「自然との共生」について真剣に考えていかなければなりません。このままでは自然環境・地球環境の劣化がさらに進んでしまいます。持続可能な社会に向けて具体的な取り組みを進めましょう。

今回、新型コロナ感染症対策として、オンラインミーティングでの開催にチャレンジしました。不慣れのため、ごちない進行となる場面もありましたが、質疑応答も含め予定通り無事に終了することができました。ご協力いただきました皆様、ありがとうございました。

エコシステムアカデミーは、持続可能な社会の実現に貢献することを目的に「体験型環境学習」、「森の調査・研究」、「情報発信」を三本柱として活動しています。次の10年に向けて、あなたも是非エコシステムアカデミーにご参加ください。共に持続可能な社会を目指しましょう。



本社会場の様子